

平成29年度事業効果評価シート（議会用）

評価常任委員会：総務建設経済常任委員会

事業名：公園等維持管理運営経費

1 行政による中間評価に対する議会評価

	評価	判断理由・評価コメント
必要性 （町が行わなければならないか）	町が行わなければならない	○ 公園によっては用途の変更、地域、団体等への管理委託も含め議論する必要がある。
	町が行った方がよい	
	委託等の必要がある	
妥当性 （公費投入は妥当か）	妥当	○ 公費投入は妥当であるが、借地としてまで必要とするか、該当する公園は用途、管理手法等改めて調査、議論を要す。
	どちらかといえば妥当	
	妥当でない	
有効性 （成果はどうか）	十分成果が上がっている	○ 草刈剪定作業、ベンチ修繕等、町民が気持ちよく利用できる一定の成果は認められるものの、期待に沿っているか、過剰な整備はないか、住民の期待する整備を求む。
	成果が上がっている	
	成果が上がっていない	
効率性 （費用は適正か）	適切である	○ 借地、用途、遊具など費用対効果、また地域としての必要性は議論、改善の余地がある。
	改善の余地がある	
	効率的でない	
総合評価	予算進捗率 79.05%（11/14 時点）	改善継続 児童遊園地、子どもの広場 56 か所については、旧態依然の維持管理手法であるのが現状。視察や近隣住民の話を聞く限り、地域性、必要性、費用対効果などの点から、思い切った改革が必要と思われる。
付帯意見	「公園統廃合に関する基本方針」に則り、地域性、必要性及び費用対効果を公園ごとに検証し、廃止、借地変換、用地売却、用途変更、遊具撤去、管理主体の変更など、将来に向けた見直しを早期に行う必要がある。「公園統廃合計画」には地域住民の要望を取り入れ、その方向性を具体的に示すとともに、丁寧かつ詳細な説明を求める。	

事業名：公園等維持管理運営事業

評価：改善し継続

児童遊園地、子どもの広場 56 か所については、必要に応じ草刈剪定、病害虫駆除、樹木管理、ベンチ修繕等実施されており、11 月 14 日現在当該予算における執行率は 79.05%である。一部では、町内会や愛護協会等による草刈剪定作業がなされており、事業費が支出されていない公園もあるが、旧態依然の維持管理手法であるのが現状である。各公園の視察や近隣住民の話を聞く限り、地域性、必要性、費用対効果などの点から、現状で良しとすることなく、思い切った改革が必要であると感じられる。

「本事業に対する提言」

「公園統廃合に関する基本方針」にのっとり、地域性、必要性及び費用対効果を公園ごとに検証し、廃止、借地変換、用地売却、用途変更、遊具撤去、管理主体の変更など、将来に向けた見直しを早期に行う必要がある。「公園統廃合計画」には地域住民の要望を取り入れ、その方向性を具体的に示すとともに、丁寧かつ詳細な説明を求める。